

突然の災害に備えを

滝沢自主防災会会長 片瀬善則

昨年、当自主防災会は、地域で助け合える防災会を目指し、組織形態を一新しました。

1年が経ち、組織図の役員体制が定着し、防災班の班編成も確認され、リーダー・サブリーダーが決定しました。今後は班員の状況を班内で共有し、災害発生時の助け合いができるような訓練の実施、防災に役立つ情報の提供などを計画しております。

災害は突然やってきます。自分が被災者のとき、助けてくれる人は近くにいますか？

被害を最小限にするためには、何よりも会員の皆さんのが防災に关心を持っていただくことです。そして、近くの家が被害にあったとき自分は何ができるのか、何をしなければならないのかなどを普段から考えて、いざというときに慌てず行動することが肝要です。

大災害にしっかりと対応できる自主防災会の組織づくりに全力をあげますので、会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

震災に強い、頼りになる、地域に密着した

滝沢自主防災会の組織図

■ 平常時

会長 片瀬 善則
副会長 荒井 宏 参与 矢口 和成
事務局長 奈須野 明 松見 雅夫

総務班 班長 矢口 茂樹 矢口 敏司
矢口 喜輝

企画班 班長 村端 浩 飯田 祐次
矢口 清隆

訓練班 班長 赤羽 正 丸山 和男
小林 要

安全 対策班 班長 片瀬 八澄 荒井 勇
村山 義章 準備

いざというとき ご近所^助の底力

防災班 Q & A

Q 防災班はなぜ必要？

A 地震度5強以上の大地震のときは、家屋の倒壊や土砂災害、道路の寸断など想像を超えた被害が想定されます。

そのときに大事なことは、自らの命を守る行動とともに、家族や近所の安否確認。時によっては緊急の救助・救援活動が必要になります。

ご近所の助け合い、協力が何より大事です。

安否確認ができたならば、途中の安全を確認しながら、グループですみやかに集落センターに避難しましょう。

Q 曜日の防災班の活動とは？

A 誰が防災班のメンバーなのかは、裏面の表でしっかり確認しておきましょう。また、防災訓練時に配布する「家庭の緊急時安心カード」を冷蔵庫などに完備しましょう（詳細は後日）。

班長は、①その中に高齢者、身体の不自由な人など近所の助けが必要な人がいるかどうか、②日中や夜に誰がいて誰がいないのか、③ジャッキ、チェンソーなどを持っている人の把握などの班内の「助け合い情報」をつかんでおいてください。

防災訓練のときには、班として避難する訓練も行います。

倒れこがらごはあそい 家具の倒壊防止策は万全ですか

備えておきます。日頃から準備をします。木一ムセンタ－などで販売されています。食器などの飛び出し、家具の倒壊防止のための器具が

